

2019年12月期 第4四半期・通期 プレゼンテーション

ルネサス エレクトロニクス株式会社
2020年2月12日

2019年 第4四半期・通期 決算説明資料

経営者が意思決定する際に使用する指標(以下Non-GAAPベース)を資料上開示しております。
Non-GAAP連結業績は、財務会計上の数値(GAAP：IFRS基準)から非経常項目や
その他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したもので、
当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しております。

当社は、通期の業績予想に代えて、翌四半期の業績予想を開示しております。

注意事項

- **IFRS適用**：今後もグローバルな事業展開を推進していくことを踏まえ、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性の向上を目的に、2018年12月期の有価証券報告書における連結財務諸表より、国際財務報告基準(IFRS)を任意適用しております。
- **業績予想の開示方法**：2019年12月第1四半期の業績予想から、業績予想の開示方法をレンジ形式に変更することに加え、当社グループの恒常的な経営成績の理解を促進する有用な情報を提供するために、財務会計上の数値(GAAP)から企業買収などに関係した非経常項目やその他特定の調整項目を一過性の利益や損失として一定のルールに基づいて控除もしくは調整した「Non-GAAPベース」にて売上収益・売上総利益率・売上営業利益率を開示することといたしました。
なお、売上総利益率および売上営業利益率は、売上収益予想の中間値により算出しております。
- **セグメント開示**：当社グループは、半導体専門メーカーであります。その事業を分類してより適切に経営情報の開示を行うため、2019年12月期第3四半期より「自動車向け事業」および「産業・インフラ・IoT向け事業」を報告セグメントとしてのセグメント別の開示を行っております。
- **取得原価の配分**：当社グループは、当連結会計年度末において、2019年3月30日付で完了したIntegrated Device Technology, Inc.(以降IDT)との企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、当連結会計年度の連結財務諸表について、取得原価の配分額の重要な見直しが反映されています。詳細は決算短信をご参照ください。

2019年12月期 第4四半期・通期 決算概要

IFRS、NON-GAAP^{*1*2}

売上収益の前年同期比、前四半期比、予想比は小数点以下第2位を四捨五入

(億円)	2018年12月期		2019年12月期								
	第4四半期 (10-12月)	通期 (1-12月)	第3四半期 (7-9月)	第4四半期 (10-12月) 予想	第4四半期 (10-12月) 実績	前年同期比	前四半期比	予想比 ^{*3} (11/7時点)	通期 (1-12月) 実績	前年同期比	予想比 ^{*3} (11/7時点)
売上収益	1,877	7,565	1,834	1,825 ～1,905	1,920	+2.3%	+4.7%	+3.0%	7,182	-5.1%	+0.8%
売上総利益率	40.5%	44.2%	45.0%	45.0%	46.0%	+5.6pts	+1.1pts	+1.0pt	44.0%	-0.2pt	+0.3pt
営業損益(率)	194 (10.4%)	1,040 (13.8%)	269 (14.7%)	261 (14.0%)	315 (16.4%)	+121 (+6.1pts)	+46 (+1.7pts)	+54 (+2.4pts)	931 (13.0%)	-110 (-0.8pt)	+54 (+0.7pt)
当期損益	72	834	225	-	216	+144	-9	-	764	-70	-
EBITDA ^{*4}	434	1,997	518	-	562	+128	+44	-	1,935	-62	-
1米ドル=	113円	110円	108円	107円	108円	5円 円高	1円 円安	1円 円安	109円	1円 円高	0円 円安
1ユーロ=	130円	131円	121円	118円	119円	10円 円高	1円 円高	2円 円安	123円	8円 円高	0円 円安

*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値(GAAP:IFRS基準)から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA(取得原価の配分)影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

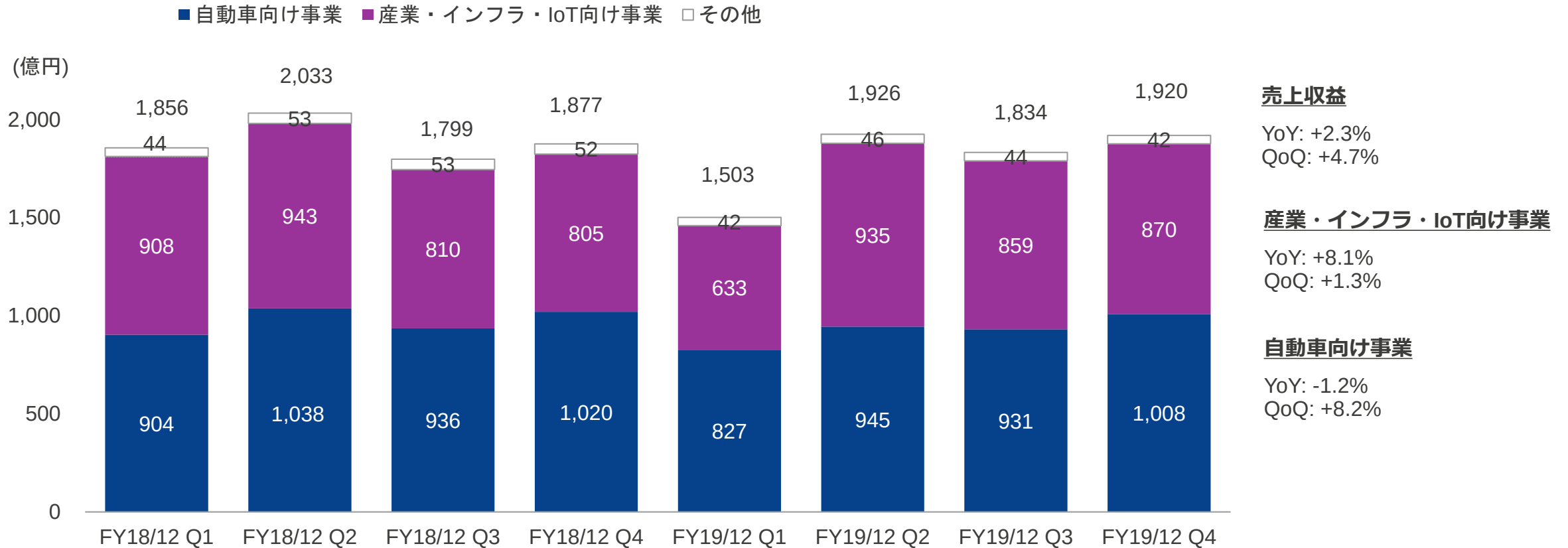
*2: 2019年12月期第1四半期から当社の監査人は交代しており、IFRSに基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表につきましては、前任監査人による四半期レビューの対象となっておりません。

ただし、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表については、前任監査人によって四半期レビューが実施されております。

*3: 各数値は売上収益予想レンジの中央値との対比 *4: 営業損益+減価償却費及び償却費

売上収益 四半期推移

IFRS、NON-GAAP^{*1*2}



*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値(GAAP:IFRS基準)から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA(取得原価の配分)影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

*2: 2019年12月期第1四半期から当社の監査人は交代しており、IFRSに基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表につきましては、前任監査人による四半期レビューの対象となっておりません。ただし、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表については、前任監査人によって四半期レビューが実施されております。

2019年12月期 第4四半期 営業利益率

IFRS、NON-GAAP*1*2

2018年12月期 第4四半期 実績 (2018年10-12月)	2019年12月期 第3四半期 実績 (2019年7-9月)	2019年12月期 第4四半期 予想 (2019年10-12月)	2019年12月期 第4四半期 実績 (2019年10-12月)
10.4%	14.7%	14.0%	16.4%

YoY: +6.1pts
QoQ: +1.7pts
予想比: +2.4pts

QoQ +1.7pts

- 為替
- 売上増による利益増
- 費用減

予想比 +2.4pts

- 為替
- 売上増による利益増
- 費用減

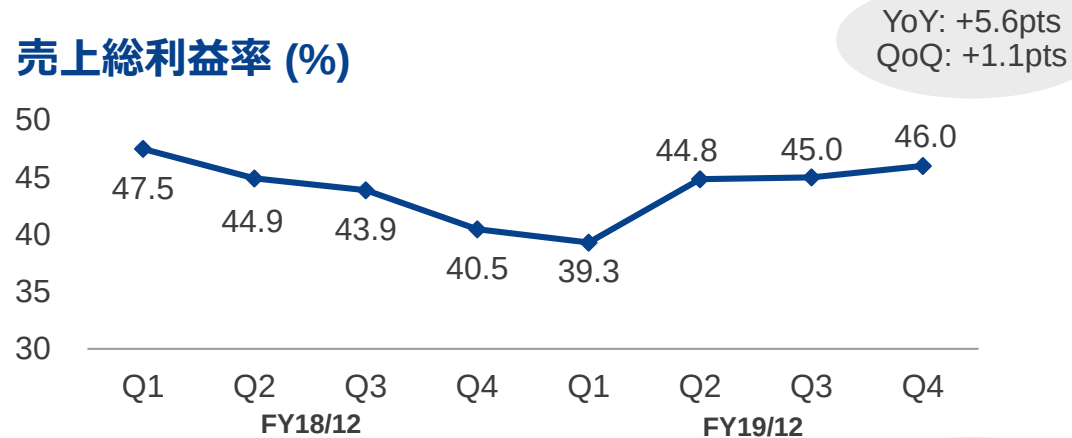
*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値(GAAP:IFRS基準)から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA(取得原価の配分)影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

*2: 2019年12月期第1四半期から当社の監査人は交代しており、IFRSに基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表につきましては、前任監査人による四半期レビューの対象となっておりません。ただし、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表については、前任監査人によって四半期レビューが実施されております。

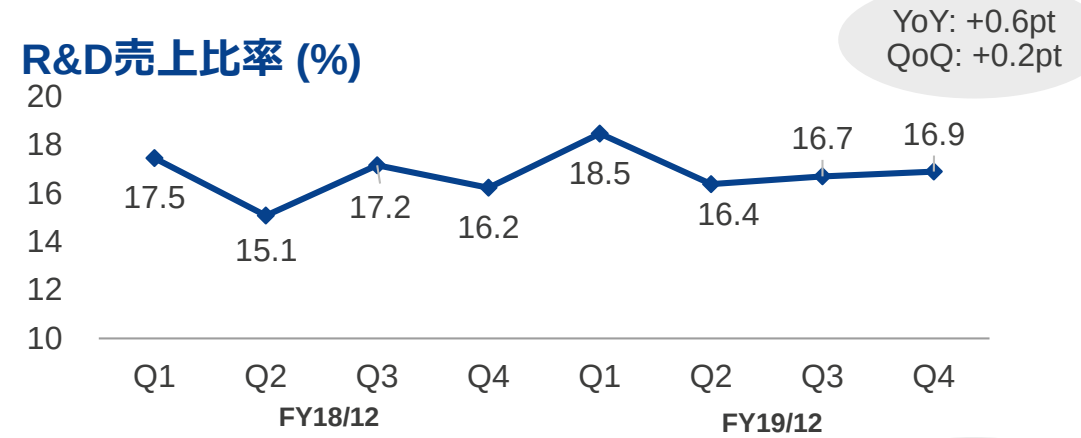
売上総利益率・営業利益率・OPEX推移

IFRS、NON-GAAP^{*1*2}

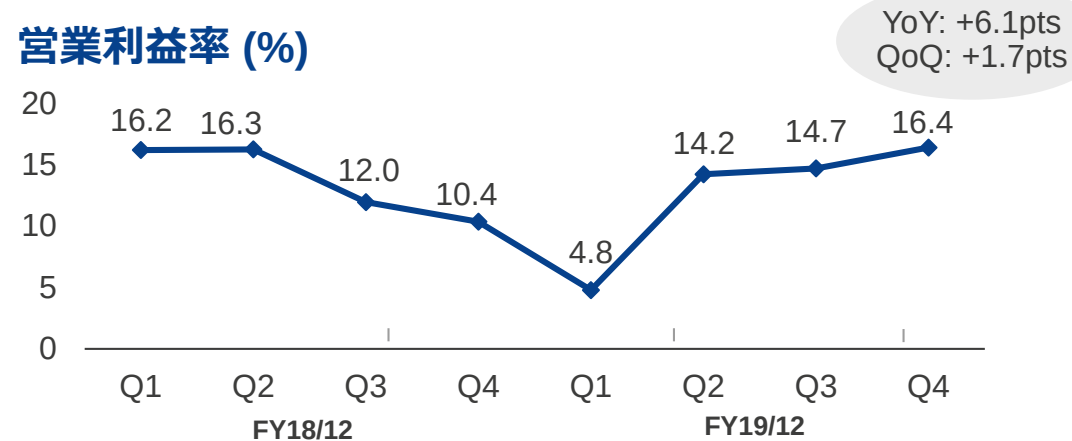
売上総利益率 (%)



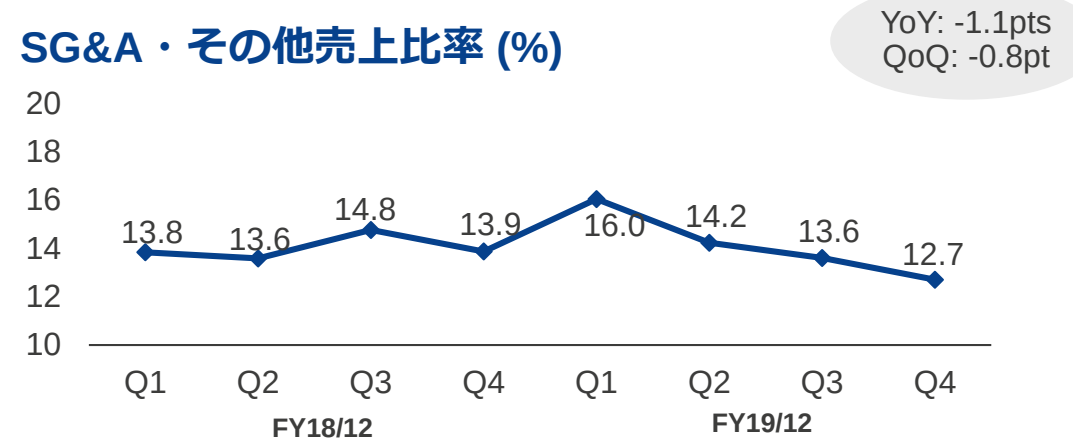
R&D売上比率 (%)



営業利益率 (%)



SG&A・その他売上比率 (%)



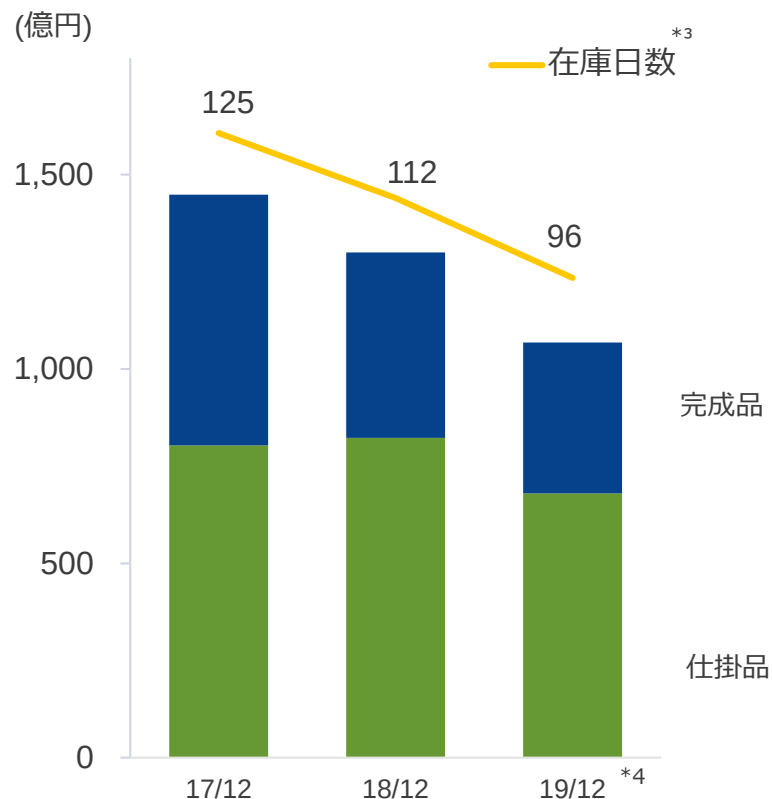
*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値(GAAP:IFRS基準)から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA(取得原価の配分)影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

*2: 2019年12月期第1四半期から当社の監査人は交代しており、IFRSに基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表につきましては、前任監査人による四半期レビューの対象となっておりません。ただし、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表については、前任監査人によって四半期レビューが実施されております。

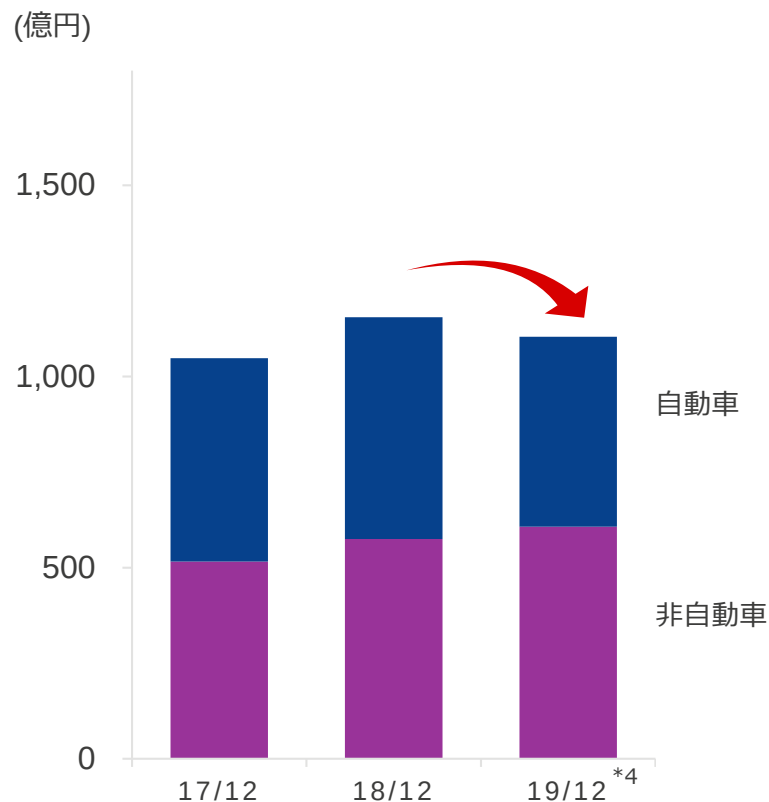
在庫状況*1

2019年12月期までに在庫調整フェーズは終結

当社在庫推移 (仕掛品 + 完成品)



販売チャネル在庫*2



需要予測の精度向上



社内意思決定チェーンの短縮



調達のフレキシビリティ確保

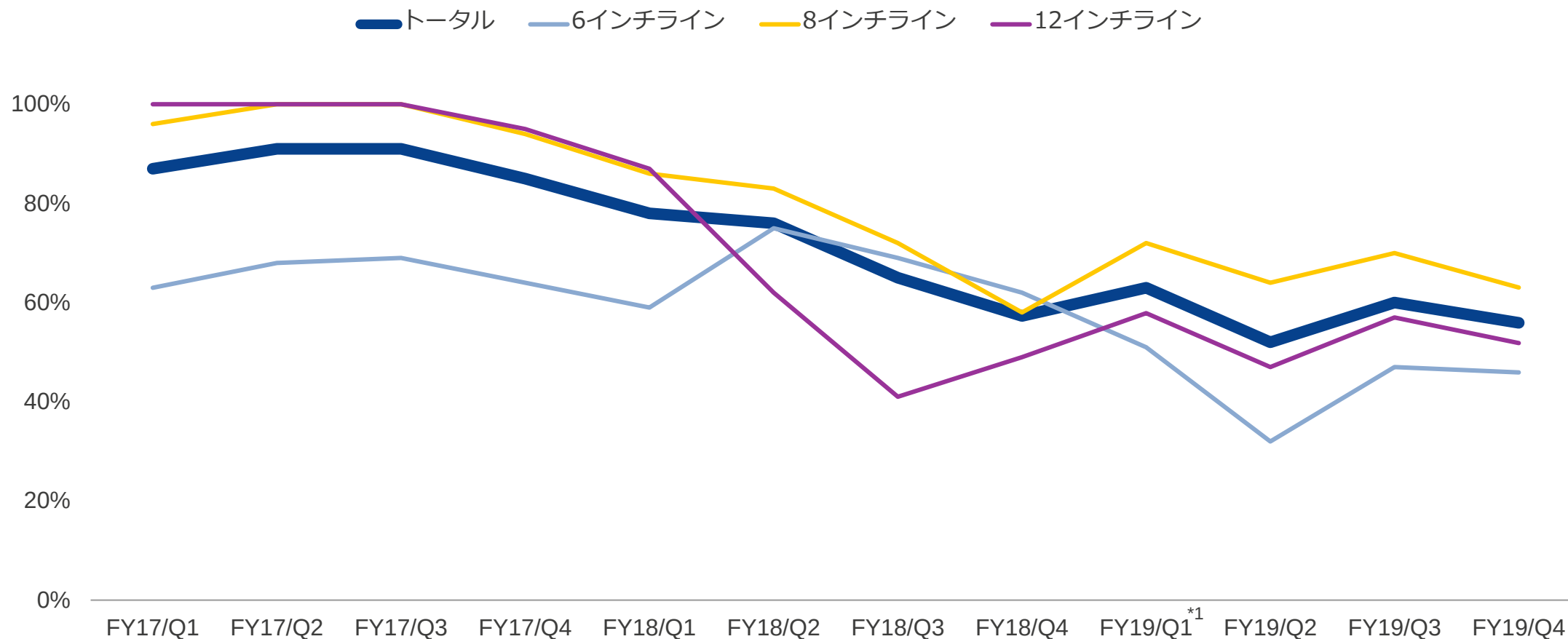
*1: 管理会計ベース

*2: 日系顧客向けの特約店16社と海外のディストリビューター(旧インターシル、IDT分含む)の在庫総量

*3: 在庫日数: 各期末在庫÷(年間のNon-GAAP売上原価÷360日) *4: IDT連結後の数値

前工程稼働率四半期推移

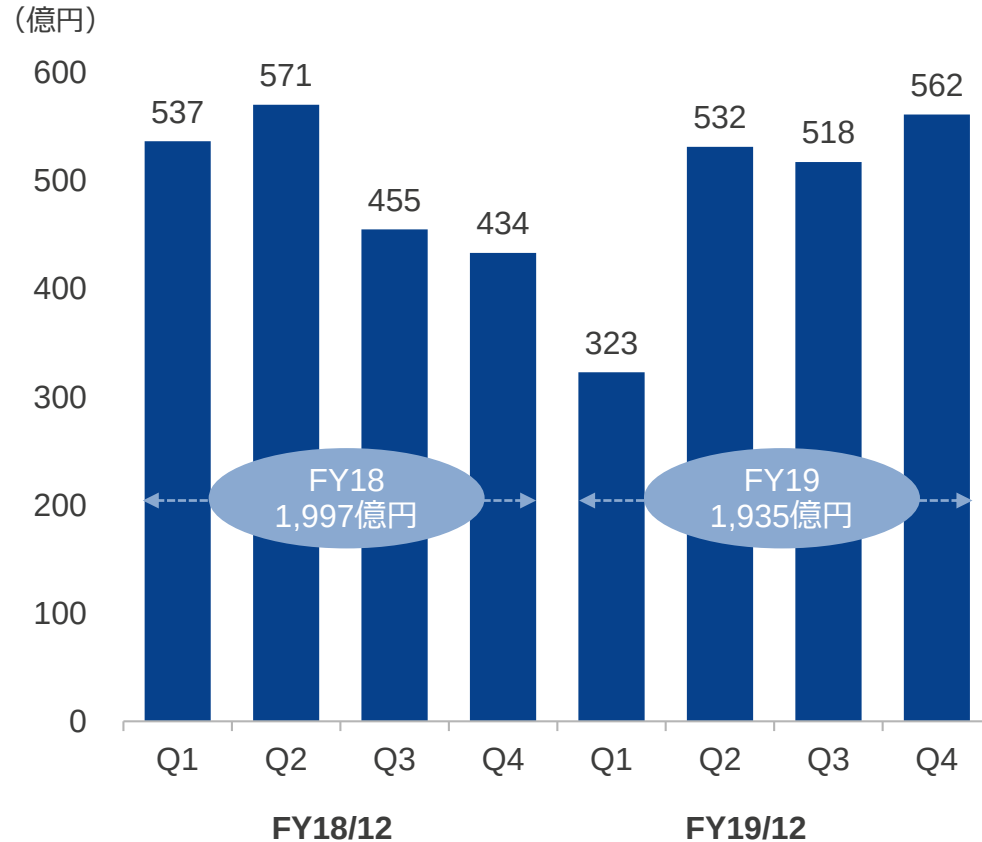
ウェハ投入量ベース



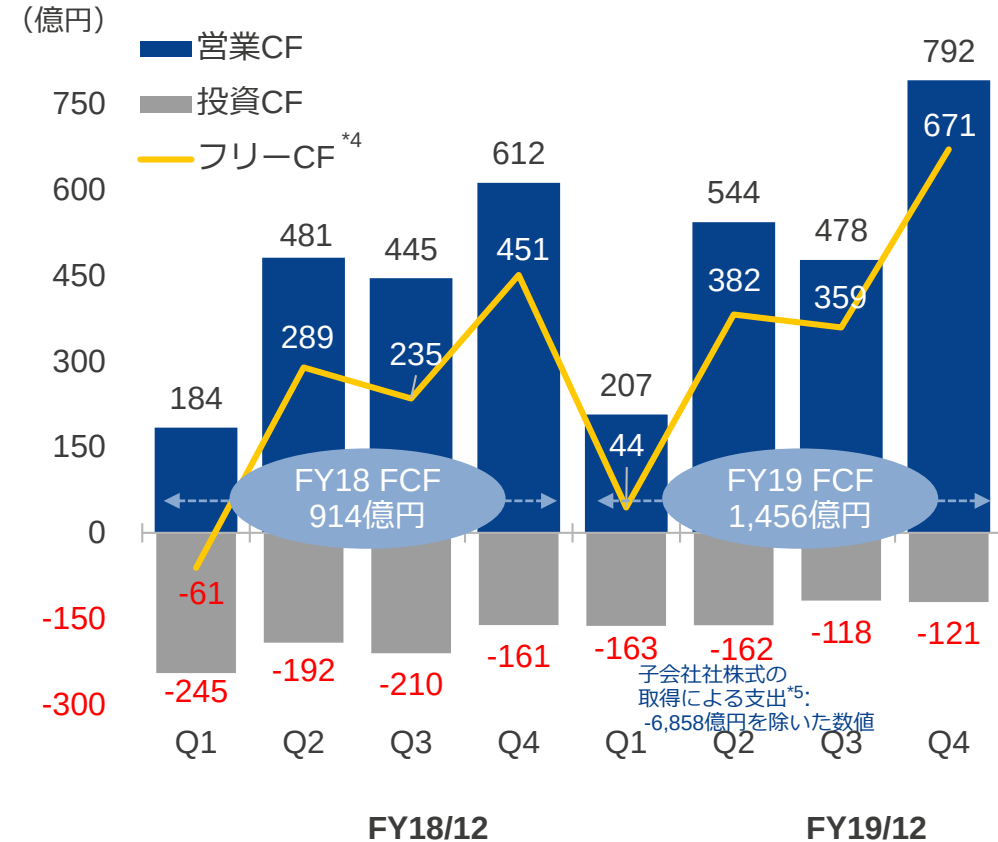
*1：6インチラインの稼働率は2019年12月期第1四半期決算発表時点（2019年5月14日）から修正しています。

NON-GAAP*¹ EBITDA*² およびGAAP*³ キャッシュ・フローの状況

Non-GAAP EBITDA



GAAP キャッシュ・フロー



*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値(GAAP:IFRS基準)から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA(取得原価の配分)影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。 *2: 営業利益+減価償却費及び償却費

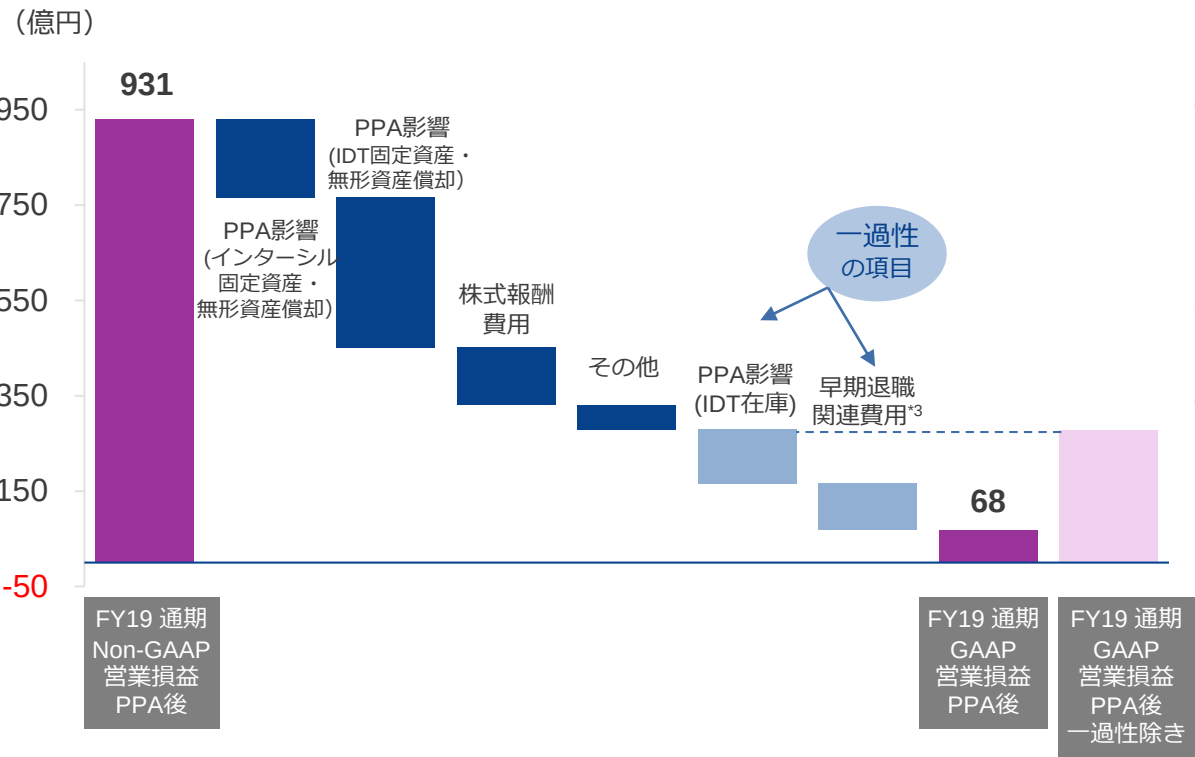
*3: 2019年12月期第1四半期から当社の監査人は交代しており、IFRSに基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表につきましては、前任監査人による四半期レビューの対象となっておりません。ただし、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表については、前任監査人によって四半期レビューが実施されております。

*4: 営業キャッシュフロー+投資キャッシュフロー *5: IDT株式の取得にかかる支出

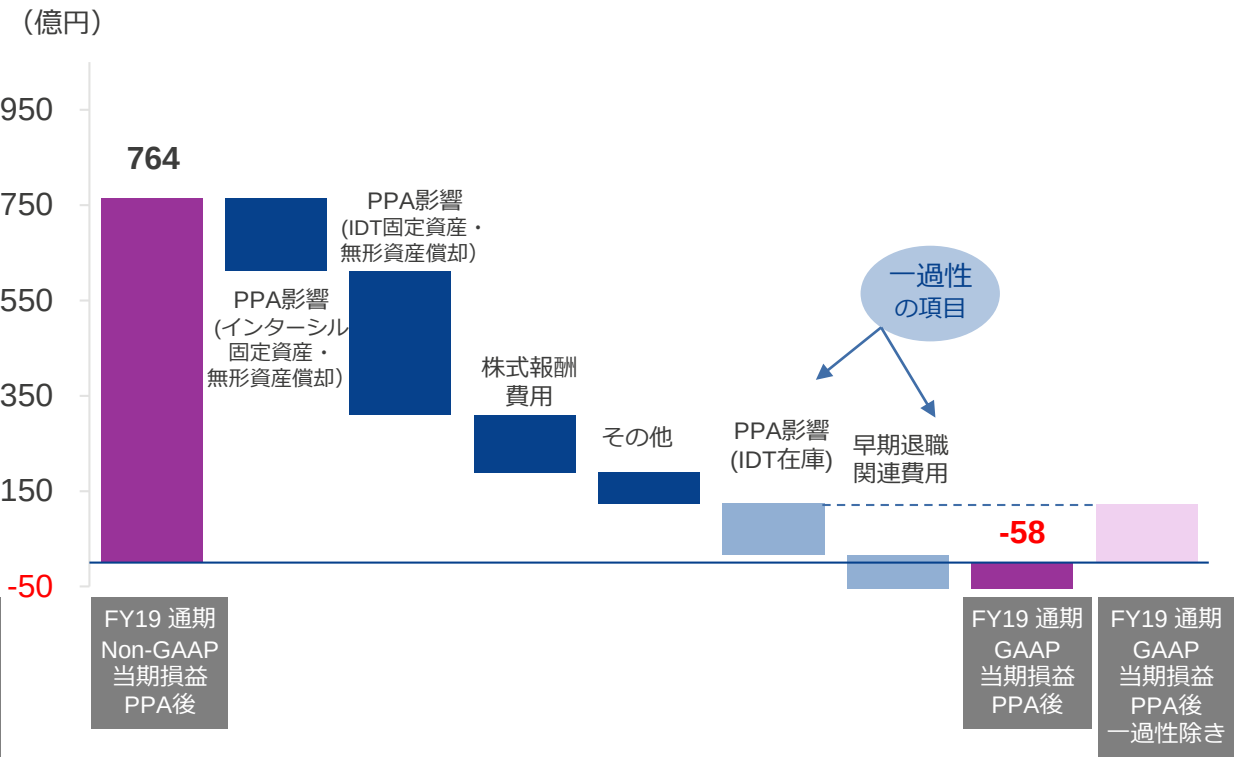
2019年12月期 通期 営業損益・当期損益の状況

NON-GAAP*1 からGAAPへのブリッジ

通期 営業損益 PPA*2後



通期 当期損益 PPA後



*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値(GAAP:IFRS基準)から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA(取得原価の配分)影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

*2: 当社グループは、当連結会計年度末において、2019年3月30日付で完了したIDTとの企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、当連結会計年度の連結財務諸表について、取得原価の配分額の重要な見直しが反映されています。

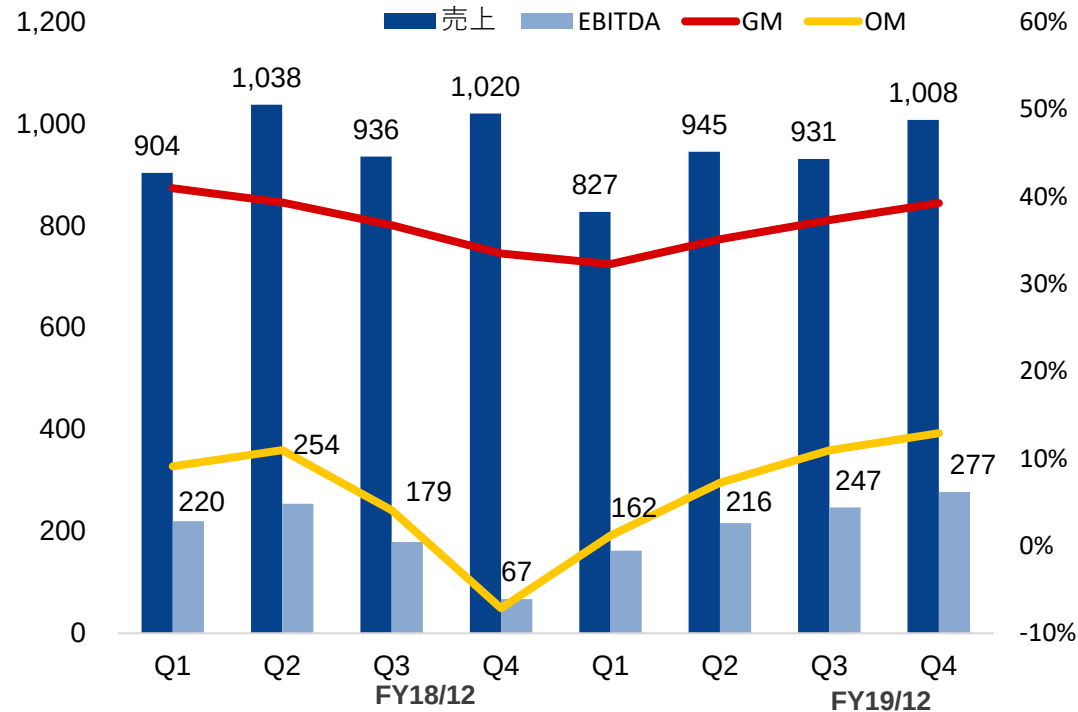
*3: 早期退職関連費用は早期退職と、早期退職に伴う賞与引当および有給休暇引当の取り崩しのネット金額を表示しております。

セグメント別の売上収益・利益・EBITDA*1四半期推移

IFRS、NON-GAAP*2*3

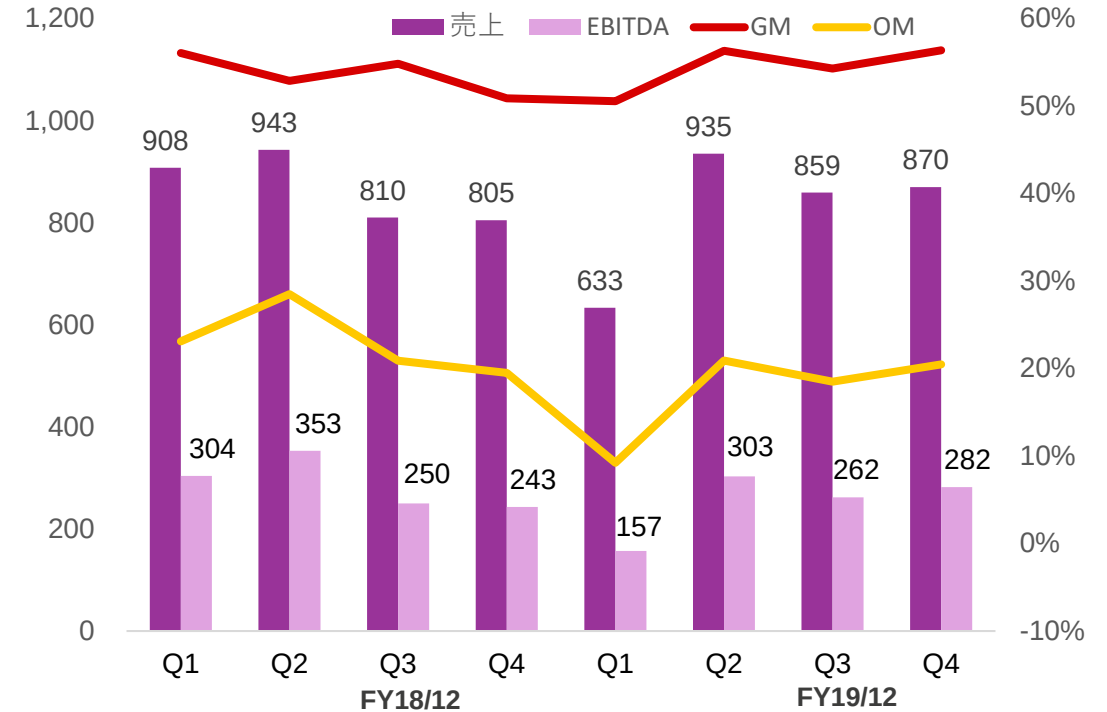
自動車向け事業

(億円)



産業・インフラ・IoT向け事業

(億円)



*1: 営業損益+減価償却費及び償却費

*2: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値(GAAP:IFRS基準)から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA(取得原価の配分)影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

*3: 2019年12月期第1四半期から当社の監査人は交代しており、IFRSに基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表につきましては、前任監査人による四半期レビューの対象となっておりません。ただし、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表については、前任監査人によって四半期レビューが実施されております。

2020年12月期 第1四半期 予想

IFRS、NON-GAAP*1

売上収益の前年同期比、前四半期比は小数点以下第2位を四捨五入

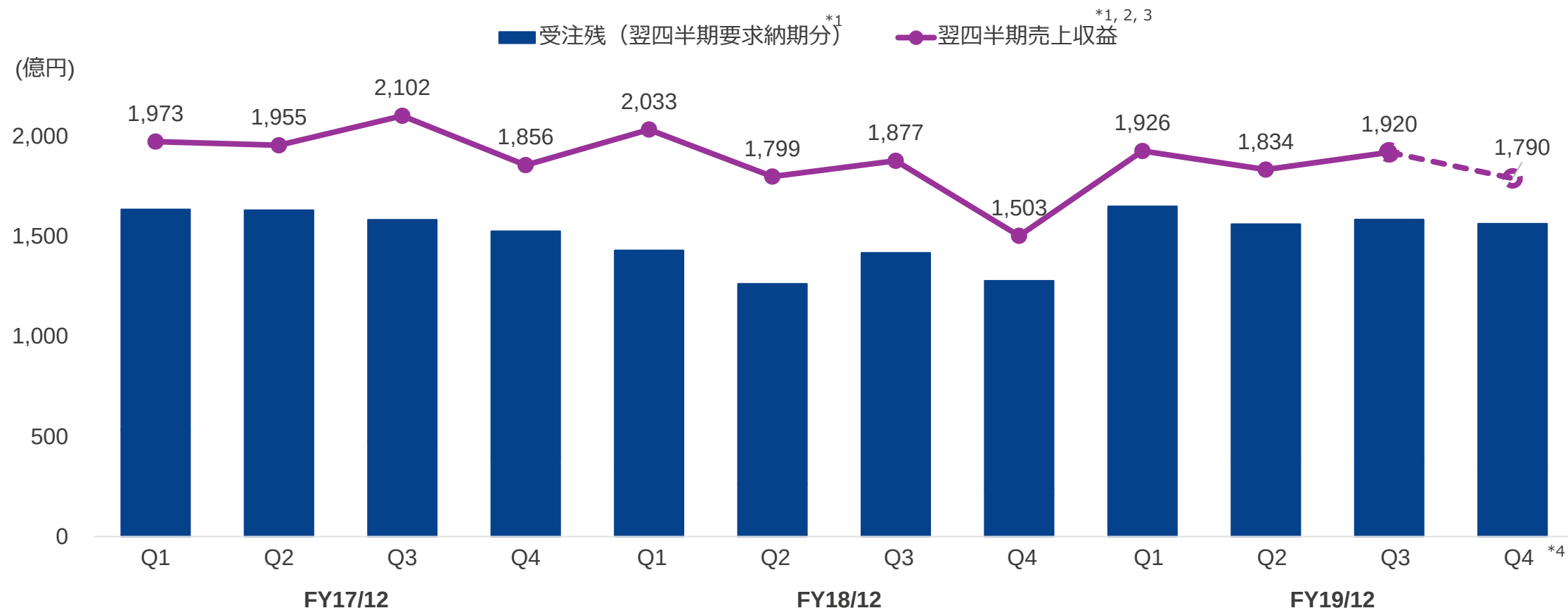
(億円)	2019年12月期		2020年12月期		
	第1四半期 (1-3月)	第4四半期 (10-12月)	第1四半期 (1-3月) 予想	前年同期比	前四半期比
売上収益	1,503	1,920	1,750 ~1,830	+16.5% ~+21.8%	-8.9% ~-4.7%
売上総利益率*2	39.3%	46.0%	46.0%	+6.7pts	-
営業利益率*2	4.8%	16.4%	15.0%	+10.2pts	-1.4pts
1 米ドル=	111円	108円	109円	2円 円高	1円 円安
1 ユーロ=	126円	119円	121円	5円 円高	2円 円安

*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値(GAAP:IFRS基準)から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA(取得原価の配分)影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

*2: 各数値は売上収益予想レンジの中央値との対比

各四半期末の受注残状況と翌四半期売上収益

受注残：翌四半期までの顧客要求納期分



*1：為替レートは、実勢レートで計算しております。

*2：FY17/12の数値はJ-GAAP(Non-GAAP)の翌四半期売上高です。

*3：各四半期の棒グラフの上に、翌四半期の売上収益を折れ線グラフで表示しております。

*4：FY19/12 Q4の翌四半期の売上収益は予想の中間値です。

APPENDIX

本パートでは、主にGAAP(IFRS基準)準拠の財務報告ベースの数値を補足情報として掲載しています。

セグメント別の売上収益および営業利益

NON-GAAP*1

(億円)		2018年12月期					2019年12月期							
		第1四半期 (1-3月)	第2四半期 (4-6月)	第3四半期 (7-9月)	第4四半期 (10-12月)	通期 (1-12月)	第1四半期 (1-3月)	第2四半期 (4-6月)	第3四半期 (7-9月)	第4四半期 (10-12月)	前年同期 比	前四半期 比	通期 (1-12月)	前年同期 比
売上収益		1,856	2,033	1,799	1,877	7,565	1,503	1,926	1,834	1,920	+2.3%	+4.7%	7,182	-5.1%
	自動車	904	1,038	936	1,020	3,897	827	945	931	1,008	-1.2%	+8.2%	3,711	-4.8%
	産業・インフラ・IoT	908	943	810	805	3,466	633	935	859	870	+8.1%	+1.3%	3,297	-4.9%
	その他	44	53	53	52	203	42	46	44	42	-18.8%	-2.7%	174	-14.1%
営業利益（率）		301 (16.2%)	330 (16.3%)	215 (12.0%)	194 (10.4%)	1,040 (13.8%)	72 (4.8%)	274 (14.2%)	269 (14.7%)	315 (16.4%)	+121 (+6.1pts)	+46 (+1.7pts)	931 (13.0%)	-110 (-0.8pt)
	自動車	82 (9.1%)	114 (11.0%)	38 (4.1%)	-73 (-7.1%)	162 (4.1%)	10 (1.2%)	68 (7.2%)	102 (10.9%)	130 (12.9%)	+203 (+20.0pts)	+28 (+2.0pts)	310 (8.3%)	+148 (+4.2pts)
	産業・インフラ・IoT*2	210 (23.1%)	269 (28.5%)	169 (20.9%)	157 (19.5%)	805 (23.2%)	58 (9.2%)	196 (20.9%)	159 (18.5%)	178 (20.5%)	+21 (+1.0pt)	+20 (+2.0pts)	591 (17.9%)	-215 (-5.3pts)
	その他	2 (5.2%)	7 (12.3%)	1 (2.1%)	8 (16.0%)	18 (9.1%)	4 (9.1%)	5 (11.5%)	9 (20.7%)	-2 (-4.5%)	-10 (-20.4pts)	-11 (-25.1pts)	16 (9.3%)	-2 (+0.3pt)
	調整額*3	6	-59	6	102	55	-	5	-	9	-93	+9	14	-41

*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値(GAAP:IFRS基準)から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA(取得原価の配分)影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

*2: 産業・インフラ・IoT向け事業の営業利益（率）は2019年12月期第3四半期決算発表時点（2019年11月7日）から修正しております。

*3: 非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したもののうち、報告セグメントに振り分けております。

GAAP(IFRS)とNON-GAAP間の調整項目

2018年12月期以降*1

- Non-GAAPベース：Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値(GAAP)から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA(取得原価の配分)影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。
- PPA(取得原価の配分)の影響額には、棚卸資産や固定資産の時価評価等が含まれています。当社グループは、当連結会計年度末において、2019年3月30日付で完了したIDTとの企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、当連結会計年度の連結財務諸表について、取得原価の配分額の重要な見直しが反映されています。

(億円)	2018年12月期				2019年12月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売上収益(PPA調整後)	1,856	2,033	1,799	1,877	1,503	1,926	1,834	1,920
PPA影響(売上収益)	-	-	-	-	-	-	-	-
売上収益(Non-GAAP)	1,856	2,033	1,799	1,877	1,503	1,926	1,834	1,920
売上総利益 (GAAP/PPA後)	867	908	789	759	572	756	816	886
PPA影響(固定資産償却:COGS*2)	+3	+3	+3	+3	+3	+4	+4	+5
PPA影響 (無形資産償却:COGS)	-	-	-	-	-	-	-	-
PPA影響(棚卸資産の時価評価: COGS)	-	-	-	-	-	+113	-	-
PPA影響 (その他 : COGS)	-	-	-	-	-	+2	-	-
株式報酬費用(COGS)	+1	+1	+2	+2	+2	+1	+2	+3
その他調整項目*3 (COGS)	+9	+0	-5	-5	+13	-5	+2	-11
その他非経常項目*4 (COGS)	-	-	-	-	-	-8	+0	-
売上総利益 (Non-GAAP)	881	913	789	760	590	864	825	884
売上総利益率(Non-GAAP) (%)	47.5%	44.9%	43.9%	40.5%	39.3%	44.8%	45.0%	46.0%

*1: 2019年12月期第1四半期から当社の監査人は交代しており、IFRSに基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表につきましては、前任監査人による四半期レビューの対象となっておりません。

ただし、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表については、前任監査人によって四半期レビューが実施されております。

*2: 売上原価 *3: 期間費用を平準化するための調整項目(税金等)が含まれております。 *4: 一過性かつ一定規模の利益または損失が含まれております。

GAAP(IFRS)とNON-GAAP^{*1}間の調整項目

2018年12月期以降^{*2}

(億円)	2018年12月期				2019年12月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
営業利益 (GAAP/PPA後)	234	328	131	-11	-13	-106	82	106
売上総利益段階までの調整項目	+14	+5	-0	+0	+19	+108	+9	-2
PPA影響 ^{*3} (無形資産償却 : SG & A ^{*4})	+41	+37	+38	+39	+38	+142	+138	+139
PPA影響 (固定資産償却 : R&D ^{*5})	+1	+1	+1	+1	+1	+0	+0	+1
PPA影響 (固定資産償却 : SG & A)	+0	+0	+0	+0	+0	+0	+0	+0
PPA影響 (その他 : R&D)	-	-	-	-	-	+1	-	-
PPA影響 (その他 : SG & A、その他の費用)	-	-	-	-	-	+1	-	-
株式報酬費用 (R&D)	+3	+5	+5	+5	+4	+12	+17	+20
株式報酬費用 (SG&A)	+8	+8	+7	+7	+10	+15	+17	+16
その他の調整項目 ^{*6} (R&D)	+1	-0	-0	-0	+1	-0	-0	-0
その他の調整項目 (SG&A)	-7	-10	-9	+26	-7	-9	-2	+18
その他非経常項目 ^{*7} (R&D)	-	-	-	-	-	-8	+0	-
その他非経常項目 (SG&A、他)	+7	-44	+43	+127	+20	+119	+9	+18
営業利益 (Non-GAAP)	301	330	215	194	72	274	269	315
営業利益率 (Non-GAAP) (%)	16.2%	16.3%	12.0%	10.4%	4.8%	14.2%	14.7%	16.4%

^{*1} : Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値(GAAP:IFRS基準)から非経常項目やその他の特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA(取得原価の配分)影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

^{*2} : 2019年12月期第1四半期から当社の監査人は交代しており、IFRSに基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表につきましては、前任監査人による四半期レビューの対象となっておりません。

ただし、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表については、前任監査人によって四半期レビューが実施されております。

^{*3} : PPA(取得原価の配分)の影響額には、棚卸資産や固定資産の時価評価等が含まれております。当社グループは、当連結会計年度末において、2019年3月30日付で完了したIDTとの企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、当連結会計年度の連結財務諸表について、取得原価の配分額の重要な見直しが反映されています。

^{*4} : 販売費及び一般管理費 ^{*5} : 研究開発費

^{*6} : 期間費用を平準化するための調整項目(税金等)が含まれております。 ^{*7} : 買収関連費用や株式売出し費用など、一過性かつ一定規模の利益または損失が含まれております。

GAAP(IFRS)とNON-GAAP*1間の調整項目

2018年12月期以降*2

(億円)	2018年12月期				2019年12月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
四半期利益(GAAP/PPA*3後)	186	316	118	-109	-18	-89	41	8
営業利益段階までの調整項目	+67	+3	+84	+205	+85	+380	+188	+210
当期利益調整項目 (Non-GAAP調整による税効果影響等)	-1	-6	-4	-24	-	-33	-5	-2
四半期利益(Non-GAAP)	252	312	198	72	66	258	225	216
Non-GAAP EPS*4(円)	15.1	18.7	11.9	4.3	4.0	15.2	13.2	12.6

*1：Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値(GAAP:IFRS基準)から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA(取得原価の配分)影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

*2：2019年12月期第 1 四半期から当社の監査人は交代しており、IFRSに基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表につきましては、前任監査人による四半期レビューの対象となっておりません。ただし、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表については、前任監査人によって四半期レビューが実施されております。

*3：PPA(取得原価の配分)の影響額には、棚卸資産や固定資産の時価評価等が含まれております。当社グループは、当連結会計年度末において、2019年3月30日付で完了したIDTとの企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、当連結会計年度の連結財務諸表について、取得原価の配分額の重要な見直しが反映されています。

*4：基本一株当たり四半期利益

2019年12月期 第4四半期・通期 決算概要

GAAP(IFRS)*1*2

売上収益の前年同期比、前四半期比は小数点以下第2位を四捨五入

(億円)	2018年12月期		2019年12月期					
	第4四半期 (10-12月)	通期 (1-12月)	第3四半期 (7-9月)	第4四半期 (10-12月) 実績	前年同期比	前四半期比	通期 (1-12月) 実績	前年同期比
売上収益	1,877	7,565	1,834	1,920	+2.3%	+4.7%	7,182	-5.1%
売上総利益率	40.5%	43.9%	44.5%	46.1%	+5.7pts	+1.7pts	42.2%	-1.8pts
営業損益(率)	-11 (-0.6%)	682 (9.0%)	82 (4.4%)	106 (5.5%)	+116 (+6.1pts)	24 (+1.1pts)	68 (1.0%)	-614 (-8.1pts)
当期損益	-109	511	41	8	+117	-33	-58	-569
EBITDA*3	271	1,809	472	498	+227	+26	1,549	-261
1 米ドル=	113円	110円	108円	108円	5円 円高	1円 円安	109円	1円 円高
1 ユーロ=	130円	131円	121円	119円	10円 円高	1円 円高	123円	8円 円高

*1: 2019年12月期第1四半期から当社の監査人は交代しており、IFRSに基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表につきましては、前任監査人による四半期レビューの対象となっておりません。
ただし、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表については、前任監査人によって四半期レビューが実施されております。
*2: 当社グループは、当連結会計年度末において、2019年3月30日付で完了したIDTとの企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、当連結会計年度の連結財務諸表について、取得原価の配分額の重要な見直しが反映されています。
*3: 営業利益+減価償却費及び償却費

バランスシートの状況

IFRS^{*1*2}

GAAP
IFRS

(億円)	2018年 3月末	2018年 6月末	2018年 9月末	2018年 12月末	2019年 ^{*8} 3月末	2019年 ^{*8} 6月末	2019年 ^{*8} 9月末	2019年 ^{*8} 12月末
総資産	10,857	11,197	11,253	10,552	18,756	16,969	16,654	16,674
うち 現金及び現金同等物 ^{*3}	1,243	1,603	1,845	1,888	1,967	1,165	1,243	1,465
うち たな卸資産	1,367	1,355	1,386	1,154	1,281 ^{*9} (IDT連結前1,093)	994	942	896
うち のれん	1,792	1,865	1,916	1,872	6,332	6,149	6,157	6,250
うち 無形資産	1,859	1,834	1,780	1,665	4,780	4,458	4,277	4,146
負債合計	5,157	5,040	4,885	4,543	12,375	11,054	10,681	10,437
うち 有利子負債 ^{*4}	2,295	2,339	2,312	1,950	9,653	8,527	8,288	7,859
資本合計	5,700	6,157	6,368	6,010	6,380	5,915	5,973	6,236
D/Eレシオ (グロス) ^{*5}	0.40	0.38	0.36	0.33	1.52	1.45	1.39	1.27
D/Eレシオ (ネット) ^{*6}	0.18	0.11	0.07	0.01	1.21	1.25	1.18	1.03
自己資本 ^{*7} 比率	52.2%	54.7%	56.3%	56.7%	33.9%	34.7%	35.7%	37.2%

*1: 2019年12月期第1四半期から当社の監査人は交代しており、IFRSに基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表につきましては、前任監査人による四半期レビューの対象となっておりません。

ただし、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表については、前任監査人によって四半期レビューが実施されております。

*2: 当社グループは、当連結会計年度末において、2019年3月30日付で完了したIDTとの企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、当連結会計年度の連結財務諸表について、取得原価の配分額の重要な見直しが反映されています。

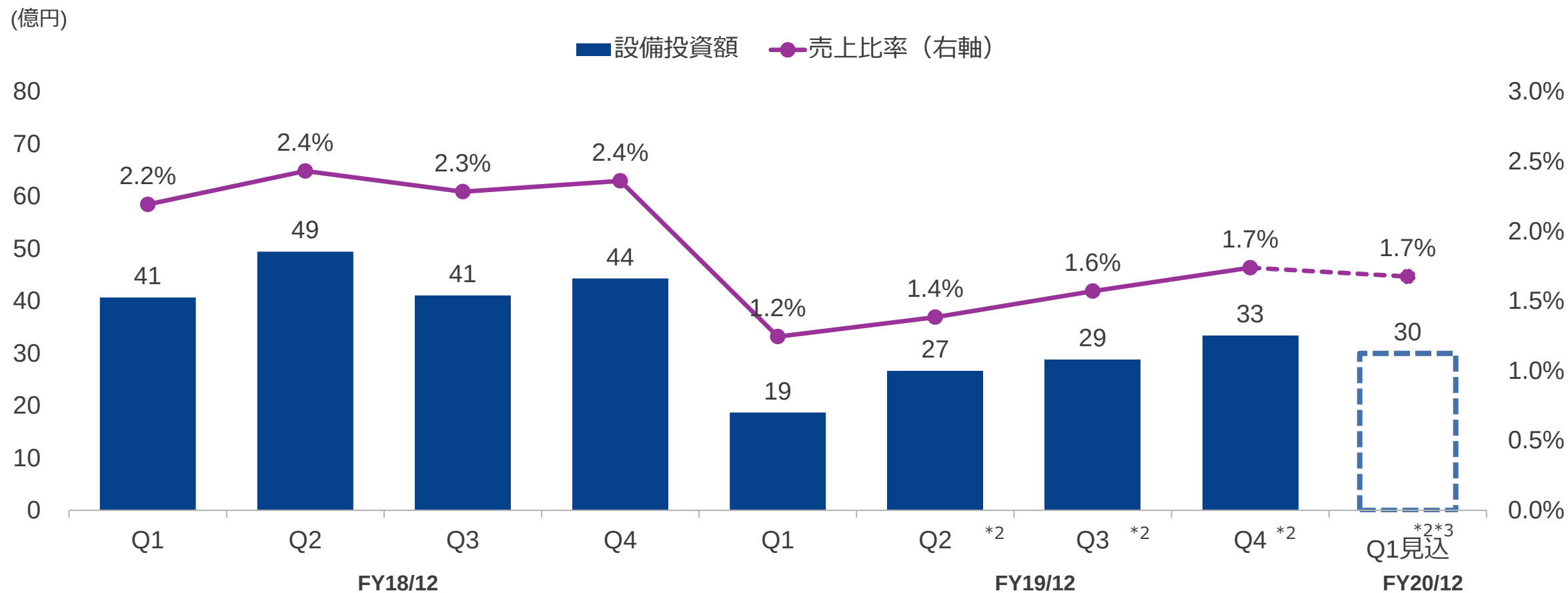
*3: 手許現金、随時引き出し可能な預金および容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期的な投資から構成されております。

*4: 借入金(流動負債)+借入金(非流動負債)+リース債務(流動負債)+リース債務(非流動負債)+社債の合計

*5: 有利子負債/自己資本 *6: (有利子負債-現金及び現金同等物)/自己資本 *7: 自己資本(親会社の所有者に帰属する持分合計)/負債及び資本合計 *8: IDT連結後の数値

*9: IDT連結前のルネサスの棚卸資産1,093億円+IDTの棚卸資産75億円+PPA(IDTの買収にかかる取得原価の配分)影響(IDTの棚卸資産を公正価値評価)113億円

設備投資額の状況*1



*1: 有形固定資産および無形資産への投資決定ベースの金額であり、キャッシュ・フロー計算書に記載の現金支出とは一致しません

*2: IDTを除く *3: 売上比率は売上収益予想レンジの中央値との対比

2019年12月期の主な広報発表

主な採用および協業関連の発表

- 上海フォルクスワーゲンと共同研究所を設立、中国自動車市場へ向けた開発を加速
- 日産の「プロパイロット2.0」にR-CarおよびRH850が採用、スカイラインに搭載
- StradVisionと次世代のADAS向けスマートカメラ開発で協業
- 当社のマイコンがMicrosoft のAzure RTOSを全面サポート開始
- アルティアとセルラーIoTソリューションで協業
- Samsung Galaxy Book Flex/Galaxy Book Ionに IDT のWireless Charging 技術が採用



新製品関連の発表

- ECU統合に向けて、世界初、仮想化を実現する車載制御用クロスドメインマイコン「RH850/U2A」を2020年第一四半期からサンプル出荷開始
- ハイブリッド車や電気自動車のバッテリー寿命と航続距離を最大化する、14セル対応、リチウムイオンバッテリーマネジメントICを発売
- 32ビットマイコンの新ファミリ、Arm® Cortex® -M搭載「RAファミリ」を発表
- IoTエンドポイント機器に向けて、Bluetooth® 5.0を搭載した32ビットRXマイコン「RX23W」を発売



Renesas.com

(将来予測に関する注意)

本資料に記載されているルネサス エレクトロニクスグループの計画、戦略及び業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づきルネサス エレクトロニクスグループが判断しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、実際の業績等は、様々な要因により、これら見通し等とは大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としては、(1)ルネサス エレクトロニクスグループの事業領域を取り巻く日本、北米、アジア、欧州等の経済情勢、(2)市場におけるルネサス エレクトロニクスのグループ製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、(3)激しい競争にさらされた市場においてルネサス エレクトロニクスグループが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを供給し続けていくことができる能力、(4)為替レート(特に米ドルと円との為替レート)の変動等がありますが、これら以外にも様々な要因がありえます。また、世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷等により、実際の業績等が当初の見通しと異なる結果となる可能性もあります。